

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則る情報公開

2022年7月28日

現在、浅井病院では、精神科に通院・入院されている方に関して以下の研究を行っています。排便管理の向上に役立てることを目的に、この研究では2016年4月1日から2022年5月31日までの診療情報を利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1．研究課題名：「精神科通院・入院患者における便秘：リスク要因と対策に関する臨床研究」

2．研究の意義・目的：精神疾患、特に統合失調症をもつ方は、便秘の発症リスクが高い傾向にあります。便秘には様々な要因が関連し、たとえば精神症状やそれに伴う自律神経の働きの変化は大きな影響があります。さらに、精神科の治療に使用される薬剤の中には抗コリン作用という働きを持つものがありますが、この作用は腸管運動を抑制するため、便秘の原因になることがあります。便秘が慢性化すると大腸刺激性下剤や浣腸を使用しますが、これらの薬剤を長期的に使用すると、腸管機能が低下してさらに便秘が悪化することがあり、重篤化するとイレウスやフレイルなどの身体的問題に発展する場合があります。本研究では、精神科で通院・入院治療を受けている方の便秘の実態や、近年発売開始となった新規慢性便秘薬の有用性、向精神薬の変更による効果などについて検討します。この結果は、慢性便秘に対するより安全で効果的な治療および対策に生かし、便通を改善させることを目的とします。

3．研究の方法：当院精神科で治療を受けている方の排便状況、頓服便秘薬・浣腸の使用状況、定期服用している薬剤、体重、食事摂取状況、血液検査値などを調査します。過去に記録された診療情報を使用しますので、新たに何らかの負担が生じるものではありません。

4．個人情報の取り扱いについて：本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部にもれることのないように厳重に管理します。研究成果は、関連学会および学術雑誌上で公表されることがありますが、患者さんの氏名などは一切公表されません。データ等は、浅井病院診療局の鍵のかかる棚で保管します。

5．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について：ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関：浅井病院

本件のお問合せ先：薬剤師 福尾 ゆかり

電話 0475-58-5000